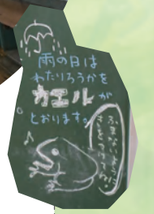
「地元との協力から生まれる地域の活性化」
～星ふる学校「くまの木」～

和洋室タイプの部屋（定員8名、2段ベッド2台、畳敷き9畳）

懐かしい学校の雰囲気がそのまま残されている



Profile

NPO法人くまの木里の暮らし事務局長

加納麻紀子さん

農林水産省の外郭団体において、農業・農村の多面的機能を活用した環境教育「田んぼの学校」の普及・推進を担当。平成22年7月、NPO法人くまの木里の暮らし事務局長に就任。NPO法人自然体験活動推進協議会理事、NPO法人日本エコツーリズムセンター世話人、ジャパンアウトドアリーダーズアワード運営委員、とちぎ協働アドバイザー、栃木県農村地域資源保全向上対策委員会委員、塩谷町教育委員、しおやグリーンツーリズム推進協議会幹事。

地元の要望に応えて体験型宿泊施設に

美しい山々と鬼怒川、荒川の清流、のどかな田畑に囲まれた自然豊かな里山が広がる塩谷町。平成14年4月、熊ノ木小学校の閉校に伴い、木造校舎を再利用した体験型宿泊施設、『星ふる学校「くまの木」』が開校した。平成15年には、文部科学省の廃校リニューアル50選に選ばれ、廃校の有効活用に積極的に取組んでいる事例として注目されている。

「熊ノ木小学校を残したいという地元の強い要望があり、どのような活用法があるのか塩谷町や地域の人たちが検討を重ねた結果、体験型宿泊施設としてオープンしました。地域内外の人が気軽に利用できる交流施設として、地域の活性化を図ることが、この施設の理念です。」とNPO法人くまの木里の暮らし事務局長の加納さんは話す。

加納さんは塩谷町から委託を受け、施設の管理・運営を行っている「NPO法人くまの木里の暮らし」の事業部リーダー、学校の事務局長として平成22年に就任。東京から塩谷町に家族で移住し、町の住人として施設運営に携わっている。

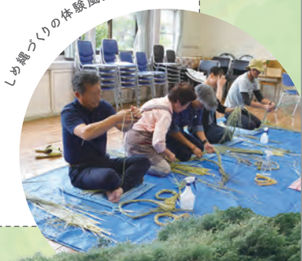
地元の人たちが提案した体験プログラム

塩谷町で生活するようになって初めて気づいたことがあると言う。

「地方の町や村は、過疎化や高齢化で元気がないと思われていますが、塩谷町の人たちは都会の人よりもずっとエネルギッシュでパワフルです。また、生活の知恵や技術をたくさん持っています。先日、大学のゼミ合宿で学生が農業体験にいらっしゃいましたが、農家の人の元気さや優しさに驚いていました。施設を利用した人に塩谷町は人がいきいきと暮らす素敵な地域であることを知っていただき、全国に発信してもらうことで町を訪れる人が増えればと思っています。」

塩谷町の人々が代々受け継いできた生活の知恵や技術は、ここで開催している体験プログラムに活かされている。「わらぞうりづくり」「みそづくり」「はしづくり」「うどん・そば打ち」などのように、地元の人たちが「これなら自分たちにもできる」とアイデアを出し合って始まったプログラムがほとんど。

「食材の提供や体験プログラムの提案・指導をしてくれる農家さん、運営をサポートしてくれるボランティアの人たちなど、地元の協力をいただきながら運営に取り組んでいます。」


しめ縄づくりの体験風景

Information

星ふる学校「くまの木」

栃木県塩谷郡塩谷町熊ノ木802番地
https://www.shioya-kumanoki.com/

当ガイドブックの9ページにも情報を掲載しています。

誰でもやさしく受け入れてくれる塩谷町

開校から16年、星ふる学校「くまの木」には、体験プログラムや自然を楽しみたいと毎年多くの人が訪れる。宿泊客の約8割が東京、埼玉、千葉、神奈川など首都圏の人たちで、団体客の約半分はリピーターが占めている。毎年利用している家族も多く、スタッフは成長した子どもたちに会うのを楽しみにしている。また、熊ノ木小学校の卒業生や戦時中に疎開して熊ノ木小学校で学んだというお客さんも「懐かしい」と言ってやって来る。施設を訪れる人たちに地元との交流を通じて町の魅力を体感してもらうことが地域の活性化につながる。

「塩谷町は、いわゆる観光地ではありませんが、小さな農村地域ならではの楽しさや魅力にあふれています。ありのままの自然と農村は、誰でもやさしく受け入れてくれるので、自分なりの楽しみ方を見つけて第二のふるさとにしてもらえたらうれしいです。」

4年後、「くまの木」は創立20周年を迎える。地域の人たちに「学校を残してよかったね」と言ってもらえるような施設にするのが目標だ。

「新しいことやワクワクするような刺激を発信し、多くの方に利用していただき、塩谷町のよさを知ってほしい。」スタッフの笑顔と木造校舎は、これからも地域交流のシンボルとして町を見守り続ける。

星空を観測する「くま天童豪（ドーム）」

▲ のどかな田園地帯にたたずむ星ふる学校「くまの木」

グリーン・ツーリズムとは

グリーン・ツーリズムとは、緑豊かな農村地域でゆっくりと滞在し、さまざまな体験や地域の人々とのふれあいを通して、その地域の自然、文化、生活などを学ぶとともに、農村地域ならではの魅力を楽しむ余暇活動をいいます。

栃木県には、体験農場や観光農園、地元農産物を使った加工体験施設、自然を満喫できるレジャースポット、地域の文化や生活を学び・体験できる施設などがたくさんあります。

次の週末は、栃木県の農村地域を訪れてみませんか？きっと素晴らしい体験がみなさんを待っているはずです。

学校のすぐそばを流れる清流荒川